

2024年度事業報告について

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

1. 大同生命地域研究賞

(定款第4条第1号に該当)

大同生命地域研究賞は、地球的規模における地域の総合的研究の一層の発展を支援することを目的として、1986年に創設された。

本財団の設立目的である国際相互理解の向上にあたり、地域研究が指向する目的と基本において一致することから、この賞を設け、学会関係者の指導、協力を得て主宰してきた。

(1) 第39回 大同生命地域研究賞の贈呈

推薦書受付、選考委員会ならびに贈呈式の開催状況は以下のとおり。

1) 推薦書受付

- ①推薦委員数：87名(2024年3月末)
- ②推薦期間：2月26日～4月30日
- ③受付件数：31件(研究賞8件、奨励賞21件、特別賞2件)

2) 選考委員会

- ①開催日：2024年5月24日(金)
- ②開催場所：クラブ関西(大阪市北区)
- ③出席委員：井上 真 氏(早稲田大学人間科学学術院教授、
東京大学名誉教授)
臼杵 陽 氏(日本女子大学文学部教授、日本女子大学
大学院文学研究科教授)〔選考委員会委員長〕
小長谷 有紀 氏(独立行政法人日本学術振興会監事)
關 雄二 氏(国立民族学博物館名誉教授)
松田 素二 氏(総合地球環境学研究所特任教授、
京都大学名誉教授)

④受賞者：以下のとおり。

○大同生命地域研究賞（副賞 300万円）

- ・「タイ日大辞典の編纂およびタイの政治社会文化に関する研究」
に対して
大阪外国語大学 名誉教授、元大阪外国語大学学長 赤木 攻 氏

○大同生命地域研究奨励賞（副賞 100万円）

- ・「東アフリカ諸国のインフォーマル経済に関する研究」に対して
立命館大学大学院先端総合学術研究科 教授 小川 さやか氏
- ・「カリマンタンの森林保全と農村開発に関する学際的地域研究と
その新展開」に対して
筑波大学人文社会系 准教授 寺内 大左 氏
- ・「ロシアとイスラーム世界の交わる地域に関する帝国論的・社会史的
研究」に対して
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 教授
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター センター長
長縄 宣博 氏

○大同生命地域研究特別賞（副賞 100万円）

- ・「母子健康手帳の国際的普及」に対して
公益社団法人日本WHO協会理事長、大阪大学 名誉教授
中村 安秀 氏

3) 贈呈式

2024年7月24日（水）にクラブ関西（大阪）で開催。

(2) 大同生命地域研究賞講演会の開催

受賞者の研究成果の披露および賞の知名度の一層の向上等を兼ねた講演会を、2024年11月30日（土）、ホテルエルセラーン大阪（大阪市北区堂島）にて、以下のとおり開催。当財団 YouTube で配信。

〔講演会の概要〕

講演者		テーマ
中村 安秀 氏	公益社団法人日本WHO協会理事長、大阪大学 名誉教授 2024年度大同生命地域研究特別賞受賞者	「母子手帳はミラクルです！～世界に広がり育まれた日本の『発明品』～」

2. 翻訳出版

(定款第4条第2号に該当)

(1) アジア諸国の現代文芸作品の日本語翻訳出版

<「アジアの現代文芸」シリーズ>

- ・以下の作品を翻訳・出版(2,500部)した。
- ・書籍は、全国の大学・公立図書館等に寄贈し、電子書籍は当財団のホームページ上等で無料公開した。
- ・これにより対象国は14カ国、出版作品数は82作品となった。

No.82 ベトナム⑥ 『白い蝶』

- ・ベトナム作品として、6作品目。
- ・『白い蝶』は、結核にかかったチュオン(主人公)の愛と苦悩を描いた作品。人生の機微を細やかに描く内面の心理描写を特徴とし、ベトナム近代文学の優れた作品の一つである。
- ・著者 ニャット・リン
- ・翻訳者 川口健一(翻訳家/東京外国語大学名誉教授)

【電子書籍での無料公開】

- ・上記作品は電子書籍でも公開。
- ・電子書籍の出版作品数は、計59作品。

(2) アジア各国語への翻訳出版

<「ジャパニーズ・ミラーズ」シリーズ>

- ・以下の作品を翻訳出版(2,000部/トルコ作品は3,000部)した。
- ・書籍は、現地の学校や図書館等に寄贈した。
- ・これにより対象国は9カ国、出版作品数は51作品となった。

No.50 トルコ語① 『日本近代詩歌選集』

- ・本シリーズでのトルコ語への翻訳は初。
- ・トルコでは文学の中心はポエム(定型詩や自由詩)という見方があり、若手読者層においても詩集が読まれている。正岡子規(俳句)、与謝野晶子(短歌)、中原中也(自由詩)等の日本近代の詩歌を翻訳・出版。
- ・編訳者 イナン・オネル(翻訳家)

[トルコ・シリア地震の被災者への支援]

- ・当該作品のトルコへの寄贈にあたり、従来の配布先に加え、2023年2月6日に発生したトルコ・シリア地震の被災者へ追加配布(従来の2,000部に1,000部加え、合計3,000部)した。

No.5 1 カンボジア語⑩『福沢諭吉』

- ・カンボジア作品として、10作品目。
- ・自由平等と学問の大切さを説き、明治維新以降の日本の近代化に大きな役割を果たした福沢諭吉の生涯について、カンボジアの人々に広く知ってもらいたいという想いから翻訳・出版。
- ・著者 浜野卓也
- ・翻訳者 ペン・セタリン(翻訳家/プノンペン王立大学言語学部教授)

3. 教育支援

(定款第4条第4号に該当)

教育環境の整備を進めている東南アジアの生徒のために、次の支援を実施した。

① ラオス：

- ・3校(ピアマイ小学校、ナノン小学校、ヒンテーク小学校)に図書を寄贈。3校は当財団が建設した学校。

② カンボジア：

- ・3校(オーニョ小学校、プアーク中学校、トノルバンベーク小学校)に図書を寄贈。3校は当財団が建設した学校。

③ ミャンマー：

- ・3寺子屋学校(ピンレーブ、ミガダーウォン、ナツマウツ)に学用品等(ノート、鉛筆、ボールペン、机、椅子)を寄贈。3寺子屋学校は当財団が建設した学校。

※上記に加え、ラオスとカンボジアにおいて、通学が困難(遠方・悪路等)のため退学を余儀なくされている農村部の中学生を対象に通学用自転車10台(各国5台ずつ)寄贈した。

以上

「附属明細書」について

2024年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

以 上